

社会・関係 資本



培ってきた“人と社会”とのつながりを強みに新たな価値を創造

国内教育事業

CS向上と地域教育への貢献を

進研ゼミ・こどもちゃれんじでは、受講者一人ひとりをサポートする教材の提供を通じて、日々、顧客満足度の維持・向上に努めています。

また、塾事業の「クラスベネッセ」では、フランチャイズ展開を強化する一方、英語4技能検定対策で他塾との連携を強化。地域の教育に貢献しています。

- 「高校講座」のスマホ専用アプリ「定期テストよく出る基礎」：満足度90%以上※1
- 通信教育の顧客満足度調査「イード・アワード」：「こどもちゃれんじ」が最優秀賞を受賞※2

※1 2,264名の進研ゼミ会員を対象にしたアンケート回答より

※2 4,947名の通信教育を受講する子どもの保護者を対象にしたインターネット調査より。(株)イードの教育情報サイトにて発表



介護・保育事業

現場の声をもとに新たな価値の創出へ

ベネッセスタイルケアの社内シンクタンク「ベネッセ シニア・介護研究所」では、認知症対策における国際連携の重要性を広めるために開催された「第1回 日英認知症会議」で、事例の分析・体系化を進めて作成した独自の「認知症ケアメソッド」を公表しました。

また、同研究所は、高齢者ホームのご入居者との「リビングラボ」を通じた商品開発を監督。ご入居者の声を活かして、履きやすく、つまずきにくい靴下をメーカーと共同開発し、ご高齢者の社会参画の機会創出へつなげています。



「第1回 日英認知症会議」の様子

「Benesse=よく生きる」を起点とした持続可能な地域づくり

「ベネッセアートサイト直島」は、瀬戸内海の直島、豊島、犬島を舞台に、ベネッセホールディングスが公益財団法人福武財団と展開しているアート活動の総称で、30年以上にわたってアートを媒介とした地域づくりに取り組んでいます。

この活動では、「各島の自然や地域固有の文化のなかに時間をかけてアートをつくり上げていくことで、どこにもない特別な場所を生み出す」ことを基本方針としています。各島でのアート作品との出会いや、日本の原風景ともいえる瀬戸内の風景や地域の人々との触れ合いは、来訪者にとって「Benesse=よく生きる」とは何かを考えるきっかけとなって

います。また、近年は国内外から毎年50万人以上が各島を訪れており、地域経済・社会の活性化とともに、ベネッセグループの社会的価値の向上につながっています。

香川県直島町への年間観光客数



「サステナビリティビジョン」の重要テーマとして



代表取締役社長
安達 保

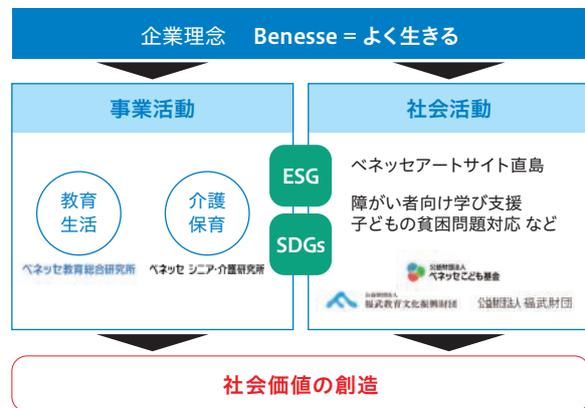
「ベネッセアートサイト直島」は、ベネッセの企業理念と深く結びついた活動であり、私たちのアイデンティティともいえる重要な活動と位置付けています。

2019年3月、当社グループは「ベネッセグループ サステナビリティビジョン」を発表しました。このテーマの一つに「地域との価値共創」を掲げています。「その地域に暮らす人々とともに、学びや文化・アートなどを通じて新しい価値を生み出し、豊かな社会を実現します」というビジョンは、各地域における学びに関する課題解決を推進することと合わせ、「ベネッセアートサイト直島」の活動を通じて、継続して地域と関わり、地域とともに成長していくことを目指して設定しています。

これからもグループの社員、福武財団、地域の皆さま、そしてベネッセアートサイト直島を訪問してくださる皆さまなど、すべてのステークホルダーの皆さまとともに、人々の「よく生きる」を考え、「よく生きる」をつくる活動を展開していきたいと思えます。

財団活動について ～「Benesse=よく生きる」の 実現に向けた取り組み～

ベネッセの企業理念「Benesse=よく生きる」は、事業活動だけでなく、社会活動を推進する財団のミッションにも通じるものです。2つの財団は、地域振興支援や子どもたちの支援などを通じて社会価値の創造を目指しています。



公益財団法人 福武財団

2004年に地中美術館の開館にともなって設立した福武財団(旧財団法人 直島福武美術館財団)は、2012年10月に助成事業を担う2つの財団と統合。直島・豊島・犬島を中心とした美術館事業、日本各地の文化・芸術による地域振興活動への助成事業、瀬戸内国際芸術祭などを支援する自主・共催事業の3つの事業を柱としてアート活動を進めています。今後も一人ひとりが「Benesse=よく生きる」を考え、お年寄りの笑顔のあふれる、より良い地域をつくっていきます。

公益財団法人 ベネッセこども基金

2014年に設立した「一般財団法人ベネッセこども基金」は、2015年4月1日に内閣府の認定をいただき、公益財団法人に移行しました。以来、「ベネッセこども基金」は、子どもが安心して学べる環境づくり、経済的困難や病気・障がいなど学びに課題を抱える子どもたちの支援、災害によって被災した子どもの学びや育ちの支援活動助成(緊急助成)などに取り組んでいます。また、課題解決支援にとどまらない、より良い社会づくりを担う子どもたちを育む学び支援にもトライしています。